

改善計画書

施策番号	担当部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)	
32120	土木部	道路整備課	課長	菊地勝実	042-769-8360	
施策名	市内幹線道路の整備					
施策の目的	<p>・広域的幹線道路を補完し、市内の拠点間等を有機的に結ぶ幹線道路のネットワークを構築する事により、交通渋滞の緩和や生活道路への通過交通の流入を抑制し、更に防災機能の拡充を図る。</p> <p>・バスなど路面公共交通機関の円滑な運行や自動車利用者の利便性の向上を図る。</p>					
これまでの取組	<p>H17年度には、相模大野線道路改良、下九沢淵野辺線道路改良、町田南大野線道路改良及び相模原二ツ塚線道路改良の工事を実施した。また、淵野辺駅山王線、相模大野線、橋本駅北口線、下九沢淵野辺線、相原大沢線及び町田新磯線改良工事に係る用地取得を行った。</p> <p>H18年度には、南橋本駅前広場整備、橋本駅北口線道路改良、町田南大野線道路改良及び相模原二ツ塚線の道路改良工事を実施した。また、淵野辺駅山王線、橋本駅北口線、下九沢淵野辺線、相原大沢線及び相原宮下線の用地取得を行った。</p>					
評価結果 (平成17年度 実績評価)	1次評価	B	2次評価	B	3次評価	B
	3次評価での指摘事項等及び意見 (は行政評価検討委員会としての指摘事項・改善要望項目、 は各委員の意見)					
	<p>満足度・重要度を上げるために、原因分析を行った上で、市民生活に密接に関わる、わかりやすい指標を設定すること。</p> <p>本施策については、節レベルで市民にわかりやすい指標設定を行い、指標の共有化を図ること。</p> <p>指標設定が難しいとのことであるが、財源投入によってどれだけ道路が出来たのか、など市民にわかりやすい指標が必要ではないか。</p> <p>例えば、前年との定点比較による混雑度や生活道路への流入量調査などは可能ではないのか。市民にとってわかりやすく、市民が実感できる指標を示すことが、道路整備課の評価につながるのではないか。</p> <p>本施策においては、「節」レベルの中で指標設定し、共有化を図ることも検討すべきではないか。</p> <p>評価結果で満足度が低い。満足度を高めていくために何をするのかを課題と解決策に明記すべきである。</p> <p>効率性の考え方については、用地取得を効率的に実施することや残地を適正に処理するなど適切な視点と考えるが、</p>					
3次評価の指摘事項を踏まえた課題整理	<p>幹線道路や生活道路などの道路が果たしている機能により、利用者の満足度に相違があるため、道路の種別や地域特性を考慮した指標を節レベル(骨格幹線道路網の整備)も含め設定する。</p>					

改善計画	改善目標及び改善時期	平成19年度、平成20年度において策定する道路整備計画の中で、道路種別、地域特性を考慮した指標の設定を行う。		
	具体的な改善方策	指標の設定にあたっては、幹線道路や地域特性及び道路の位置付けなどの相違を考慮した、整備の優先度、費用対効果が市民にわかりやすい指標とする。		
	改善項目 [成果指標の設定]	実施の時期	平成19年度末までに	
		平成19、20年度の2年間で道路整備の成果指標の作成を行う。		
	改善項目 「 」	実施の時期	平成19年度末までに	
改善項目 「 」	実施の時期	平成19年度末までに		
改善結果	改善目標の達成状況			
	評価及び今後の取組方針等			